

### 「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。昨年リニューアルした PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞ登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF News 発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

### 投稿のお願い

#### 【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

#### 【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

#### 【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

### 宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1  
高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所 放射光科学研究施設内  
PF ニュース編集委員会事務局  
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202  
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp  
URL : <http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/>

### 編集後記

PF ニュースの外部編集委員を仰せつかって、早一年以上が経過しました。以前、記事を書いていただいたこともある PF ニュースに、また携わることができて光栄に感じております。ただ昨今の時流の変化により冊子の発行部数が減少し、代わりに閲覧がウェブ主体になってしまうのは理解しつつも少々さびしい気がしています。研究者は紙の山に埋もれて仕事をするという、古のイメージをもつ筆者からするとついつい紙媒体が懐かしくなります。さて、研究者の守るべき倫理について世間で騒がれる事態が頻発しております。研究費や安定した身分を確保するため、あるいは自身の功名心を満たすためなど、研究者は様々なプレッシャーを受けています。研究費の申請書には、私の研究の将来はまるでバラ色（のようには見えなくもない）といった文章を書きますし、周囲の研究者が高いインパクトの成果を出せば正直焦ります。ただ、皆がルールを守っているからゲームが成立するのであり、ゲームの楽しみがあるのだと思います。研究者のルールの最たるものは嘘をつかないことです。誰が・いつ・どこでやっても再現できるのが科学の大前提です。「見た・信じる」だけで良ければ UFO やツチノコも充分科学です。筆者は（幸か）不幸か地味でパツとしまませんが、嘘で虚栄心を満たすならこのままで良いというのが矜持です。（MN）

### \*平成 26 年度 PF ニュース編集委員\*

委員長	原田 雅史	奈良女子大学生活環境学部		
副委員長	足立 純一	物質構造科学研究所		
委員	安達 成彦	物質構造科学研究所	宇佐美徳子	物質構造科学研究所
	大村 彩子	新潟大学研究推進機構超域学術院	柏原 輝彦	海洋研究開発機構
	佐賀山 基	物質構造科学研究所	辻 淳一	(株) 東レリサーチセンター
	土屋 公央	加速器研究施設	長江 雅倫	理化学研究所基幹研究所
	丹羽 尉博	物質構造科学研究所	野呂 篤史	名古屋大学大学院工学研究科
	兵藤 一行	物質構造科学研究所	深谷 有喜	日本原子力研究開発機構
	間瀬 一彦	物質構造科学研究所	吉田 鉄平	京都大学大学院人間・環境学研究科
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所		